

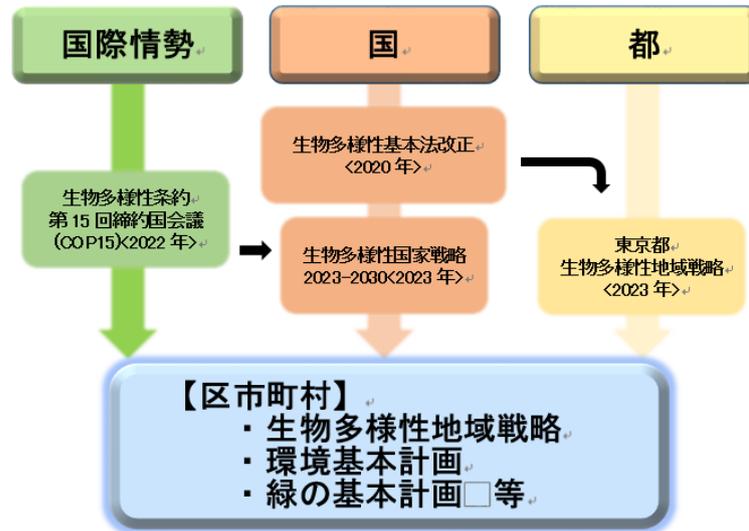
板橋区生物多様性に関する基礎調査

(既存資料整理報告概要版)

既存資料整理内容

(1) 生物多様性に関する動向(国際情勢・国・東京都)

生物多様性に関する動向(2020年以降)についてみてみると、国際的動向として、「生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)における(2022年)」にて生物多様性の保護に向けた新たな国際的な枠組みが採択され、それを受けて、国では「生物多様性国家戦略 2023-2030(2023年)」を制定、さらに都では、「東京都生物多様性地域戦略(2023年)」を改定している。これらの計画を受け、各区市町村では、生物多様性に関連する計画の策定・見直しを随時実施している。



(2) 区の生物多様性に関連する各種計画の情報を踏まえて背景を整理する。

板橋区環境基本計画 2025	基本目標の1つに【「自然環境と生物多様性の保全」 緑と水と生きものに囲まれた都市空間の創造】を掲げ、以下の施策を実施している。 <環境施策①板橋らしい良好な緑や水環境の保全・創出> <環境施策②自然とのふれあい促進や自然の恵みの享受> これらの施策において、リーディングプロジェクトの1つとして「いたばしの緑を感じよう！」というテーマのもと、【緑のカーテンの普及】、【間伐材などの木材使用】、【自然体験の機会拡大】に取り組んでいる。
板橋区緑の基本計画 (いたばしグリーンプラン2025)	板橋区では、“みどり”を「次世代につなぐ」「街並みをつなぐ」「人をつなぐ」の3つを施策展開のテーマとして示している。 ① “みどり”を次世代につなぐ(まもる・支える・継承する) ② “みどり”で街並みをつなぐ(つくる・ひろげる・質を高める) ③ “みどり”と人をつなぐ(楽しむ・はぐくむ・参加する)
板橋区 かわまちづくり計画	板橋区では、5つのコンセプトを基とした計画で、令和3年8月20日に「かわまちづくり支援制度」に登録されている。コンセプトの1つに「自然・環境・生物多様性を学べる場」が挙げられている。

収集資料一覧

データベース化に使用した資料の数は、16 となった。なお、データベース化にあたっては、調査結果の信頼性や 確認地点などの情報がある程度整理されているものとした。

表 4.1-1 データベース化のための収集資料一覧

No.	図書名	発行年度	発行者
1	R2 年度区民参加型いきもの情報共有事業業務委託最終報告書	令和 2 年度	板橋区
2	R3 年度区民参加型いきもの情報共有事業業務委託最終報告書	令和 2 年度	板橋区
3	R4 年度区民参加型いきもの情報共有事業業務委託最終報告書	令和 2 年度	板橋区
4	板橋区昆虫類等実態調査(IV)報告書	平成 20 年度	板橋区
5	板橋区野鳥の実態調査報告書	平成 5 年度	板橋区
6	板橋の野草たち	平成 18 年度	植物画を描く会、赤塚公園自然観察会
7	昆虫の本	昭和 62 年度	板橋区
8	石神井川における多自然型川づくり調査報告書	平成 6 年度	板橋区
9	鳥の本	平成元年度	板橋区
10	平成 11 年度かんきょう観察報告書	平成 11 年度	板橋区立エコポリスセンター
11	平成 30 年度かんきょう観察報告書	平成 30 年度	板橋区立エコポリスセンター
12	見次公園池ノ環境管理調査委託	平成 5 年度	新日本気象海洋株式会社
13	令和 4 年度かんきょう観察報告書	令和 4 年度	板橋区立エコポリスセンター
14	都立光が丘公園生物多様性保全利用計画	令和 5 年度	東京都東部公園緑地事務所 他
15	浮間公園生物多様性保全利用計画策定業務	令和 4 年度	東京都東部公園緑地事務所 他
16	赤塚公園生物多様性保全管理計画策定業務報告書	平成 30 年度	東京都東部公園緑地事務所 他

資料整理結果

区の生物多様性の現状把握に活用が可能な既存調査結果を収集し、区内の動植物についてデータベース化し種別に整理した結果について示す。

植物は計1,870種、動物は計3,630種が確認された。

表 4.1-2 収集資料集計による種別数 (種)

植物	1870	両生類	13	環形動物	3
昆虫類	2545	魚類	50	貝類	6
鳥類	652	底生動物	47	陸産貝類	36
哺乳類	22	クモ類	173	珪藻類	19
爬虫類	27	甲殻類	17	その他動物	20